

事業報告

理事長あいさつ

令和2年度は、当初から新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全ての事業において今まで経験をしたことがない困難な状況の中での遂行を余儀なくされました。しかしながら、当財団では、WEB会議システムなど新たなツールを整備し、積極的に活用するとともに、各事業においてウイルス対策、遠隔実施などそれぞれの事業関係者からさまざまなご協力を賜りながら趣向を凝らし、ほぼ計画通りに、一部は今まで以上の成果を得ながら事業を遂行いたしました。

事業面での大きなトピックスとして、まず、「日立財団アジアイノベーションアワード」の第1回目となる募集、選考、採択を実施したことが挙げられます。財団では、アジアの人財育成ならび国際交流事業として、昭和59年度から37年間にわたって実施してきた日立スカラーシップ事業を令和2年度にて終了しました。そして、近年のアジアの大きな発展を受けて事業をリニューアルし「日立財団アジアイノベーションアワード」として結実させました。コロナ禍が収束しない中、残念ながら表彰式を行うことは叶いませんでしたが、WEBを活用し採択された研究内容を動画にて広く公開しました。今後も新たな海外事業として内容の充実を一層図るとともに、アジアの大学、研究機関への広報活動に力を入れ周知を図り、アジアの更なる経済発展に微力ながら貢献していく所存です。

加えて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックへの貢献として、株式会社日立製作所 および、同社役員・従業員、グループ会社役員からの寄付によって、研究助成事業である「日立感染症関連研究支援基金」を新設しました。財団として、今までにない助成規模の、グローバルな研究支援事業として令和3年度に募集、選考、採択を行う計画です。

平成27年4月の日立財団の発足以来、時代の要請に応じて、旧5財団時代の事業の改廃と、新設など事業改革を一貫として実施してまいりました。財団の主要事業は整いつつあり、今後とも持続可能な社会の構築や国民生活の向上、さらには国際社会へのさらなる貢献を目指して、各事業成果の高度化を図ってまいります。

公益財団法人 日立財団

理事長

石塚 達郎

倉田奨励金（研究助成事業）

2020年度(第52回)倉田奨励金は、全国の大学、研究機関等から昨年を大きく上回る、316件の応募があり、選考委員会による厳正な選考を経て、48名の研究者への助成が決定しました(自然科学・工学研究部門37名、人文・社会科学研究部門11名)。新型コロナウイルス感染症対策により贈呈式は中止し、各分野の代表研究者挨拶および受領者全員の研究概要をWEBに掲載しました。

近年は、社会変化に伴ったフィールドの広がりや、分野横断的な研究の増加が特徴でしたが、今年は特に新型コロナウイルス感染症の影響で社会が大きく変わり、非接触技術や、人間の行動分析など、新たな社会課題へ挑む研究が多く見られました。

■受領代表者4名の喜びの声 (2021年3月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics078.html>



【エネルギー・環境分野】

岡 弘樹氏

早稲田大学理工学術院 博士課程2年



【健康・医療分野】

原 哲也氏

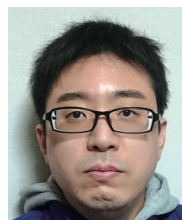
神戸薬科大学臨床薬学研究室 准教授



【都市・交通分野】

多田 建二郎氏

東北大学タフ・サイバーフィジカルAI研究センター、
大学院情報科学研究科(兼任)准教授



【人文・社会科学研究部門】

桐山 大輝氏

東京農工大学大学院農学研究所 博士後期課程

■2020年度(第52回)倉田奨励金 受領者48名研究概要 (2021年3月WEB公開)

https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics078_2.html



日立財団科学技術セミナー（啓発事業）

今回は、量子エレクトロニクスの分野で原子時計の研究をされている香取秀俊氏(東京大学大学院工学系研究科教授、理化学研究所香取量子計測研究室 主任研究員)を講師に迎え、「光格子時計」をテーマに2020年10月31日(土)13:30~15:00 オンラインにてご講演いただきました。

■実績 登録者440名 実聴講者290名

■テーマ 「光格子時計 ~ 時空のゆがみを見る時計」

■開催日時 2020年10月31日(土) 13:30~15:00(オンライン開催)

■講師

香取 秀俊氏

東京大学大学院工学系研究科 物理学専攻 教授、理化学研究所 香取量子計測研究室 主任研究員

■開催報告 (2020年11月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics075.html>



香取 秀俊氏

日立感染症関連研究支援基金（研究助成事業）

本基金は、COVID-19禍への対処において顕在化したさまざまな問題をエビデンスに基づき学術的に調査、分析、考察し、その知見を国際的に共有することをめざす研究に対して助成するものであり、2021年12月1日から最長3年間の研究助成事業です。2020年度は、2021年4月1日からの募集に向け、事業規定類の制定、募集要項、申請書類などの作成、電子申請システムの構築、日本経済新聞、WEB、SNS掲載、大学・研究機関・学会などへのチラシ配布による告知等、準備を重ねてきました。

■日立感染症関連研究支援基金WEBサイト(募集期間:2021年4月1日から6月30日) (2021年3月WEB公開)

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/fundsupport/index.html>



日立財団アジアイノベーションアワード（表彰事業）

2020年度からスタートした本事業は、対象ゴールをゴール2「飢餓をゼロに」およびゴール3「すべての人に健康と福祉を」と設定し、実施しました。募集期間を2020年4月1日から6月30日とし、選考委員会にて厳正なる審査の結果、最優秀賞2件、優秀賞2件、奨励賞8件の合計12件を選定し、理事会の承認を以て表彰対象を決定しました。最優秀賞の2件について、東京にて表彰式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ中止とし、研究内容紹介の動画を制作し、WEBにて公開しました。

■最優秀賞2名の喜びの声（動画）および受賞全12件の研究概要

（2021年3月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics077.html>



最 優 秀 賞



【インドネシア・チャタルム川流域汚染の浄化・環境対策】

Dr. Ajeng Arum Sari

インドネシア科学院：インドネシア



【ベトナム農作物の低温加工による高付加価値化】

Dr. Tan Minh Nguyen

ハノイ工科大学：ベトナム

優 秀 賞



【汚泥による発電用バイオガスおよび有機肥料の生産】

Dr. Do Van Manh

ベトナム科学技術アカデミー：ベトナム



【心血管疾患検出装置の開発】

Dr. Tati Latifah E Rajab Mengko

バンドン工科大学：インドネシア

奨 励 賞

インドネシア3件、ミャンマー2件、カンボジア1件、ラオス1件、フィリピン1件 合計8件

人づくり

日立みらいイノベータープログラム（出張授業）

2020年度はコロナ禍での開催となりましたが、教育委員会・小学校・講師を派遣頂いた日立グループ各社の事業所と綿密に連携を図り、4校で実施しました。出張授業当日は密を避け、広い教室や体育館を使用し、さらに講師と児童の距離もとり、アクリルパネルを使用するなど、感染症対策に十分配慮し実施に至りました。

■実績 2県4校9クラス 小学校受講者数297名／講師11名

■実施校と講師派遣元

自治体	実施校	講師派遣元
茨城県日立市	成沢小学校	日立製作所他
茨城県かすみがうら市	下稻吉小学校	日立建機
埼玉県熊谷市	大幡小学校	日立金属
埼玉県戸田市	喜沢小学校	日立システムズ



■開催期間 2020年7月～2021年2月

■20年出張授業実施レポート（2021年4月WEB公開）

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/innovator/index.html>



日立みらいイノベータープログラム (教育フォーラム)

小学校で新学習指導要領が全面実施となった2020年度、今一度、未来を見つめ直し、未来に向けて進む希望と力を子どもたちにもってもらうため、第一線で教育改革を牽引する方々を講師にお迎えし、新学習指導要領、PBL(プロジェクト型学習)、STEAM教育をキーワードに、「未来をイノベートする人財育成」について、2021年2月14日(日)13:30~16:30オンラインにて語っていただきました。

- 実績 登録者500名 実聴講者300名 交流会参加者25名
- テーマ 変わる教育と日本の未来 ~未来をイノベートする人財育成を考える~
- 開催日時 2021年2月14日(日) 13:30~16:30(オンライン開催)
・第一部(講演)13:30~15:50 ・第二部(交流会)15:55~16:30 ※Zoom Breakout Roomを使用
- 講師
板倉 寛氏 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室長 [新学習指導要領]
戸崎 勤氏 戸田市教育委員会 教育長 [プロジェクト型学習]
中島 さち子氏 steAm Inc 代表取締役 [STEAM教育]
- 講演録 (2021年3月WEB公開)
<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics080.html>



理工系女子応援プロジェクト (啓発事業)

本年度は、理工系女性のロールモデル2名の方をゲストに迎え対談を実施しました。当財団WEBサイトの中の理工系女子応援サイト「わたしのあした」の「パイオニアトーク」のコーナーに対談記事を掲載しました。(聞き手:荒木由季子(株式会社日立製作所 理事))

パイオニアトークVol.5 (2020年7月WEB公開)

- 梶山 祐実氏 横浜市都市整備局都市デザイン室長
「未来都市計画、新しいまちづくりを通じ、女性の活躍分野を紹介」
<https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/dialog/vol5/01.html>



梶山 祐実氏

パイオニアトークVol.6 (2021年3月WEB公開)

- 荒井 由美子氏 竹中工務店 東京本店 技術部
「都市計画を実際に設計・施工する建設会社における女性の活躍分野を紹介」
<https://www.hitachi-zaidan.org/my-tomorrow/dialog/vol6/01.html>



荒井 由美子氏

多文化共生社会の構築

「多文化共生社会の構築」シンポジウム (啓発事業)

「外国につながる高校生の教育・就労」をテーマに、世の中に知られていない外国籍の高校生世代の課題に焦点をあてたシンポジウムとして、2020年12月20日(日)13:00~16:00オンラインで開催しました。このテーマでは、「初めて、財界人の登壇と多数の企業人聴講者を得た」こと、また、教育に関わる関係者への情報提供としても、好評を得ました。

- 実績 登録者836名 実聴講者589名、後日のオンデマンド視聴者350名
- テーマ 外国につながる高校生たちの「活躍する力」を拓く ~学びと就労の実態が問いかける支援のあり方~
- 開催日時 2020年12月20日(日)13:00~16:00(オンライン開催)
- 基調講演 北山 浩士氏 文部科学省 国際教育課長
- 特別講演 竹沢 泰子氏 京都大学教授 日本学術会議分科会委員
- 財界人座談会
江田 麻季子氏 世界経済フォーラム 日本代表
栗原 美津枝氏 株式会社価値総合研究所 代表取締役会長
渋谷 健氏 シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役CEO
- パネルディスカッション
小林 美陽氏 文部科学省 総合教育政策局国際教育課 教育専門官
高橋 清樹氏 多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)事務局長
角田 仁氏 都立一橋高校三部制主任教諭
毛受 敏浩氏 公益財団法人日本国際交流センター 執行理事
モデレーター 結城 恵氏 群馬大学 教育・学生支援機構 大学教育センター教授
- 講演録 (2021年3月WEB公開)
<https://www.hitachi-zaidan.org/topics/topics079.html>

